

建退共証紙を分割して購入する場合の記入例

様式 I -A09-1号



建設業退職金共済制度加入届

平成〇〇年〇月〇日

杉並区長 宛

住所 〇〇区〇〇〇〇 〇-〇-〇

請負者

氏名 〇〇建設(株)
代表取締役 〇〇 〇〇

印

(法人の場合は名称
及び代表者の氏名)

建設業退職金共済制度の加入について、
● 掛金収納書
● 標識(シール)の工事現場
● 建設業退職金共済証紙
購入状況報告書
を添えて届けます。

契約番号	〇〇〇〇〇〇〇〇		
工事件名	〇〇〇〇〇〇〇〇工事		
工事場所	杉並区〇〇〇〇 〇丁目〇番先~〇丁目〇番先		
契約金額	¥	〇〇,〇〇〇,〇〇〇-	
		(うち消費税及び地方消費税の額 ¥ 〇,〇〇〇,〇〇〇-)	
契約年月日	平成〇〇年〇月〇日	工期	平成〇〇年〇月〇日から 平成〇〇年〇月〇日まで

- ・上記添付書類のうち、掛金収納書、標識(シール)の工事現場における掲示状況写真、建設業退職金共済証紙購入状況報告書のいずれかを提出できない場合は、提出できない書類名称及び提出できない理由を下記に記載すること。
- ・建設業退職金共済制度に非加入の場合は、他の共済制度(中小企業退職金共済制度等)に加入している状況を下記に記載し、証明する書類を添付し提出すること。

本届出は平成〇〇年〇月〇日から平成△△年△月△日までの掛金収納書及び建設業退職金共済証紙購入状況報告書であり、残りの工期分については、別途届出いたします。

注. 標識(シール)の工事現場における掲示状況写真を同時に提出できない場合は、後日この様式を使用して別途提出すること。

C 加入労働者が分からない場合

①工事種別 _____

②総工事費 円 _____

③共済証紙購入代金率 _____ / 1000
 (総工事費と工事種別に対する購入代金率を「表」より求める)

④契約金額 円 _____

⑤加入者率 (70%とする) _____ 0.7

⑥共済証紙購入額 (②×③×⑤) 円 _____
 (千円未満を増額調整し、掛金日額で割り切れる額とする)

⑦今回購入額 (⑥×(購入対象日数÷総工事日数)) 円 _____
 (千円未満を増額調整し、掛金日額で割り切れる額とする)

[表] (工事種別・総工事費に対する共済証紙購入代金率)

工事種別 総工事費	土 木						建 築		設 備	
	舗装	橋梁等	隧道	堰堤	浚渫・埋立	その他	住宅・同設備	非住宅・同設備	屋外の電気等	機械機器設備
～9,999千円	$\frac{5.0}{1,000}$	$\frac{5.0}{1,000}$	$\frac{6.4}{1,000}$	$\frac{5.9}{1,000}$	$\frac{5.3}{1,000}$	$\frac{5.9}{1,000}$	$\frac{6.9}{1,000}$	$\frac{4.6}{1,000}$	$\frac{4.1}{1,000}$	$\frac{3.1}{1,000}$
10,000～ 49,999千円	$\frac{4.7}{1,000}$	$\frac{4.6}{1,000}$	$\frac{5.1}{1,000}$	$\frac{5.4}{1,000}$	$\frac{4.0}{1,000}$	$\frac{5.1}{1,000}$	$\frac{4.1}{1,000}$	$\frac{4.3}{1,000}$	$\frac{3.0}{1,000}$	$\frac{2.4}{1,000}$
50,000～ 99,999千円	$\frac{4.1}{1,000}$	$\frac{4.0}{1,000}$	$\frac{4.0}{1,000}$	$\frac{4.4}{1,000}$	$\frac{3.9}{1,000}$	$\frac{4.4}{1,000}$	$\frac{3.9}{1,000}$	$\frac{3.6}{1,000}$	$\frac{2.6}{1,000}$	$\frac{2.0}{1,000}$
100,000～ 499,999千円	$\frac{3.3}{1,000}$	$\frac{3.0}{1,000}$	$\frac{3.0}{1,000}$	$\frac{3.6}{1,000}$	$\frac{2.7}{1,000}$	$\frac{3.3}{1,000}$	$\frac{3.1}{1,000}$	$\frac{3.0}{1,000}$	$\frac{2.0}{1,000}$	$\frac{1.6}{1,000}$
500,000千円 以上	$\frac{2.4}{1,000}$	$\frac{2.3}{1,000}$	$\frac{2.7}{1,000}$	$\frac{2.6}{1,000}$	$\frac{2.4}{1,000}$	$\frac{2.6}{1,000}$	$\frac{2.9}{1,000}$	$\frac{2.6}{1,000}$	$\frac{1.6}{1,000}$	$\frac{1.6}{1,000}$

注. 屋外の電気等は、道路や公園の街路灯設置工事や信号機設置工事等の場合に適用する。